

馴染みの公園に再び行くことが出来ました！

O様は2024年10月に左大腿骨を骨折され入院し、12月に自宅退院されたのち2025年1月よりすこやか通所リハビリのご利用を開始されました。開始当初は左下肢の筋力低下や長期入院による体力面の低下が目立ち、フロア内での短距離歩行でも疲労がみられていました。短期集中リハビリを取り組む中で徐々に改善がみられ、押し車での歩行距離も長くなっていきました。生活行為向上リハビリに移行されてからは目標として挙げられていた「近所の公園まで歩いて行く」ことをセラピスト同行のもと達成され非常に喜んでおられました。ご利用から3カ月毎に測定する体力測定ではTUGが20.9秒から19.2秒へと改善もみられています。現在は奥様と一緒に外出することを目標にリハビリに取り組まれています。O様の目標が達成出来るようスタッフ一同サポートしていきます。



O様（パワーリハ歴 4ヶ月）

体力測定	2025年1月	2025年4月
握力（右）	18.0kg	18.7kg
片脚立位（右）	3.3秒	0.3秒
ファンクショナルリーチテスト	16.0cm	15.0cm
座位体前屈	14.0cm	11.0cm
TUG	20.9秒	19.2秒

医療法人アエバ会 老人保健施設
すこやか生野

入所・短期入所

06-6717-8002 (代表)

通所リハビリテーション

06-6717-8003 (直通)

居宅介護支援事業所

06-6717-8033 (直通)

<https://www.aeba.or.jp>

すこやか生野

検索

無料見学体験会随時実施中！

お気軽にお問い合わせください。



すこやか生野 業務改善への取り組み

令和6年度、大阪府介護生産性向上支援センターの伴走支援プログラムに参加しました。

介護事業所がそれぞれ有する課題を把握し、業務の効率化や改善を行い、より良い職場環境を実現することにより、介護従事者のモチベーションの向上が図られ、ひいては介護サービスの質の向上につながっていく、介護現場における生産性の向上を進めることが目的です。

すこやか生野では「ケアズ・コネクト」を導入し、職員間のコミュニケーションの量と質を改善し、カンファレンスの質が高まることでより良いプランの立案や良いケアの提供ができることを目指しています。



介護現場での日常課題を解決するバックオフィスシステム（勤怠管理・情報共有・コミュニケーション等）にスタッフ定着エッセンスや、心理的安全性を高める様々な仕組みを融合したICT

今回は、様々な機能の中でも、お知らせやチャットの活用により、紙運用や電話連絡では実現できなかったスピーディーな情報伝達が可能となりました。

今後も、生産性向上に資するガイドラインに沿って、現場の課題解決に取り組み、改善活動を続けていくことで、ご利用者様のQOL（生活の質）の向上に繋がる取り組みを進めてまいります！

06-6717-8002(代表) 担当：齋藤



すこやかKITCHEN note

～すこやか生野のキッチンで調理している食事レポートです！～

お花見

- ・しらすと梅の混ぜご飯・天ぷら（天つゆ）
- ・菜の花の胡麻和え・赤だし

お花見のメニューです。
天ぷらにはサワラとたけのこを使用し、春らしい食材で食感・味・見た目で楽しむことができました。

担当者：管理栄養士 古舘 牧子

